

平成14年度第1回日本スポーツ少年団常任委員会議事録

日 時 平成14年4月10日(水)13時30分～14時40分
場 所 財団法人日本体育協会 理事・監事室
出席者 長沼本部長、宮田、森、吉田の各副本部長
島中、中村、水上、森、福田、田中(偉)、猪木、向山、板良敷、熊倉、
菅原、村田、片山、山岸、中原、小杉、長谷川、田中(恒)の各常任委員
——委員総数22名、うち出席22名(含委任7名)
設置規程第17条第3項により会議成立。
(事務局)岡崎局長、古賀次長、小寺青少年スポーツ部長、
西田少年団課長、少年団課・青少年課員

長沼本部長を議長とし、議事に入った。

<報告事項>

1. 平成14年度日本体育協会事務局機構および職員の配置について

岡崎局長および古賀次長より、去る4月1日からスタートした平成14年度日本体育協会事務局機構および職員配置について報告。

2. 平成13年度第4回常任委員会および第2回委員総会の議事録について

議長より資料に基づき報告、これを了承。

3. 第24回全国スポーツ少年団剣道・卓球交流大会の終了について

事務局より資料に基づき、去る3月28日～30日の3日間、岐阜県大垣市で開催した全国剣道交流大会および同じく3月28日～30日に滋賀県大津市で開催した全国卓球交流大会について、両大会とも開催県スポーツ少年団ならびに競技団体の協力のもと成功裡に終了した旨を報告。これを了承。

4. 第29回日独同時交流「日本派遣団」団長団の決定および派遣団員の内定について

事務局より資料に基づき、本部長に一任されていた田宮一彦日本スポーツ少年団委員(静岡県本部長)を団長とする団長団の決定および派遣団の編成について報告。

今後、欠員18名の補充の調整を行い、内定した団員については5月3日から東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催する事前研修会を経て正式決定とすること、また、派遣団の服装・装具関係については、その決定等を団長団に一任願うことを確認。以上、いずれも了承。

なお、派遣団の欠員に関し、明年に備えてのリーダーの養成および早めの候補者の調整をブロック選出委員に要請した。

5. 平成13年度日本スポーツ少年団シニアリーダースクールの終了について

事務局より資料に基づき、シニアリーダースクールを当初計画どおり実施し、全課程を修了した207名を去る3月30日付にてシニアリーダーとして認定したことを報告。これを了承。

6. 平成13年度日本スポーツ少年団顕彰事業の終了について

事務局より資料に基づき、日本スポーツ少年団顕彰要綱第3条第3項により各県を通じ16府県26名の退任指導者に対し感謝状を贈呈したこと、また、これにより平成13年度の顕彰事業を総て終了した旨を報告。これを了承。

7. プロジェクト報告

(1) <スポーツ安全対策プロジェクト>

① ジュニアスポーツ医・科学サポートシステムワーキンググループについて
事務局より報告。

今後の具体的な活動方針について、協議・再確認するとともに、平成14年度の具体的作業として、「指導者全国研究大会」時に本ワーキンググループが取り組んでいる内容の説明と資料配布を行い、活動内容の理解を得るとともに今後取組んで欲しい内容等の意見・要望を聴取し、作業を進めていくこととした。

(2) <指導者・リーダー養成プロジェクト>

事務局より、次の3点について報告。

- ① 平成13年度少年スポーツ指導員養成専門科目講習会(兼)スポーツ少年団認定育成員養成講習会終了に伴う受講者の合否判定について
報告事項9で報告するので省略
- ② 平成14年度以降のシニアリーダースクールについて
議案5に提案しているので省略
- ③ 平成13年度シニアリーダースクール未修了者の取り扱いについて
平成13年度シニアリーダースクール未修了者のうち、後期スクーリングのみ不参加でレポート等終了している者については、特例として平成14年度のスクーリングに全日程参加・修了した場合、シニアリーダーとして認定することとした。

以上、これを了承。

8. 各ブロック報告

特になし。

9. その他

① 平成13年度少年スポーツ指導員の審査結果について

事務局より資料に基づき、修了者の審査について3月14日開催の指導者・リーダー養成プロジェクトで合否判定を行い、185名を修了者(合格者)とした旨報告。内、140名はスポーツ少年団認定育成員として併せて認定した旨報告。これを了承。

② 2001年ミズノスポーツメントール賞について

事務局より、田中偉晃常任委員が 2001 年度ミズノスポーツメントール賞シルバーを受賞された旨報告した。

<議 案>

1. 第40回全国スポーツ少年大会の開催について

事務局より、第 40 回全国スポーツ少年大会の開催について、平成 14 年度から補助先をスポーツ振興基金から日本自転車振興会に切り替えたことにより「リーダーズアクション 2002」を冠したこと、および本年 7 月 28 日から 8 月 1 日までの 5 日間、三重県鈴鹿サーキットを主会場に実施する旨、開催要項(案)及び日程(案)に基づき説明。

また、両案については、去る 4 月 5 日に三重県で開催された実行委員会にて承認済であるが、最終的に本委員会で承認されれば、早速各都道府県に通知し参加者を募集したい旨併せて諮り、これを承認。

2. 第24回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会の開催について

事務局より、本年 8 月 14 日から 17 日までの 4 日間、北海道旭川市にて開催する第 24 回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会の開催について、実施要項(案)および日程(案)に基づき説明。

併せて、本委員会で承認の後、来たる 4 月 17 日に旭川市で開催の実行委員会を経て最終決定となるが、部分的な変更等生じた場合の最終承認方については、同実行委員会へ出席する宮田副本部長に一任願いたい旨諮り、これを承認。

3. 第8回全国スポーツ少年団SHIPS交流大会の開催について

事務局より、第 40 回全国スポーツ少年大会同様、補助先を切り替えたことにより、「リーダーズアクション 2002」を冠したこと、および本年 8 月 6 日から 8 日までの 3 日間、神奈川県・横浜市三ツ沢公園陸上競技場を主会場に開催する第 8 回全国スポーツ少年団 SHIPS 交流大会の開催について、実施要項(案)および日程(案)に基づき説明。

また、両案については、去る 4 月 2 日に神奈川県で開催された実行委員会にて承認済であるが、最終的に本委員会で承認されれば、各都道府県に通知したい旨併せて諮り、これを承認。

4. 平成 14 年度シニアリーダーズスクールの実施について

事務局より、本年度から年 1 回のスクーリングとして、8 月 2 日から 6 日までの 5 日間、静岡県御殿場市の国立中央青年の家で開催する平成 14 年度シニアリーダーズスクールについて、開催要項(案)および日程表(案)に基づき説明。併せて、本委員会で承認の後、5 月上旬に各都道府県に発信したい旨諮り、これを承認。

中原委員から、都道府県からの参加者の推薦にあたっては、書類上のみではなく、責任をもって行ってもらいたい旨の要望が出された。

5. 平成 14 年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会の実施について

事務局より、本年度新規事業として9月14日から15日までの2日間、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催する平成 14 年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会について、開催要項(案)に基づき説明。併せて、本委員会で承認の後、5 月下旬に各都道府県に発信したい旨諮り、これを承認。

6. 平成 14 年度ブロックリーダー研究大会の実施について

事務局より、本年度新規事業として実施するブロックリーダー研究大会について、実施要項(案)に基づいて説明。併せて、本委員会で承認の後、5 月上旬に各都道府県に発信したい旨諮り、これを承認。

7. 日本スポーツ少年団創設40周年記念表彰事業の実施について

事務局より、日本スポーツ少年団創設40周年記念事業としての「功労者・優秀団表彰事業」について、15 年以上継続している指導者を功労者として、また、20 年以上に亘り継続活動している単位団を優秀団として表彰するとともに、特別表彰として日本スポーツ少年団の育成・発展に多大な貢献をした機関・団体・個人を表彰する旨、実施要項(案)に基づき説明。併せて、本委員会で承認の後、各都道府県に推薦方を依頼したい旨諮り、これを承認。

8. 平成 15 年度事業計画および要望予算の編成について

事務局より、平成 15 年度事業計画および要望予算の編成については、従来同様5月中に各専門部会を開催し、その要望等を取りまとめた後全体的な調整を行い、本部長とも充分連絡をとりながらその作業に着手したい旨説明。併せて、最終的な要望予算の「取りまとめ」については、本部長に一任願いたい旨説明。協議の結果、これを承認。

9. その他

- ① 福田委員より、スポーツ少年団に功労のある指導者が不慮の事故にあった場合等に、感謝状を贈呈するなどの相応の対応について質問があったが、事務局よりそのような場合を含め、各都道府県には随時対応できるよう予め感謝状を送付しており、年度末に一括報告いただくことになっている旨を説明。事務担当者会議において再度周知徹底を図ることとした。

以上、協議し 14 時 40 分閉会した。